

倫理委員会（議事概要）

国立病院機構 東近江総合医療センター

日時・場所	令和3年2月8日（月） 17:40～18:25 きらめきA
構成員	(委員長) 目片副院長 (委員) 内科診療部長、外科診療部長、石河産婦人科医長、 薬剤部長、看護部長、事務部長、企画課長 (外部委員) リモート参加 山 びわこ学院大学 准教 古川 ふるかわ社労士事務所 代表 藤澤 浄光寺 住職 (オブザーバー) 院長 (事務局・書記) 管理課長
議 事 概 要	
<p>(1) 申請課題について</p> <p>①2-33申請者：奥野計寿人（小児科医長） 課題名：川崎病発症に対する気象環境要因に関するスパースモデリングを用いた探索的研究 概要：滋賀県での川崎病発症例情報と気候データを解析し、滋賀県における川崎病の発症と気候等の環境要因との関係を明らかにすることを目的とする多施設共同研究。 審査判定：条件付承認 (意見) ・滋賀県内での症例数は年間150名～200名と見込んでいる。 ・個人を特定するデータは用いない。個人が特定されることがない様に取り扱う。 ・オプトアウトの(8) 本研究に関する問い合わせ先については、当院の担当医師である奥野医長を併記すること。</p> <p>②2-34申請者：赤堀浩也（外科医長） 課題名：人工膵臓を用いた周術期血糖管理による腹部手術後合併症予防効果の前向き単盲検比較研究（30-14、30-20、2019-05、2-03） 概要：手術周術期の人工膵臓による厳格な血糖管理に関する前向き臨床比較試験を行い、①脂肪組織急性炎症が術後感染症合併症の原因の一つであること、②インスリンが脂肪細胞に作用する可能性を認めた。本研究では、人工膵臓による手術周術期の血糖管理における至適血糖濃度域の同定ならびに術後合併症抑制効果の機序解明を目的とする。 審査判定：条件付承認 (意見) ・今回申請は実施期間の延長及び採取項目の追加である。 ・臨床研究実施計画書における「22. 研究成果の帰属と研究成果の公表」については、「東近江総合医療センター」を明記すること。また、文中「研究を終了した2022年頃に投稿論文として…」の記載を2024年頃と訂正すること。</p>	

③2-35申請者：水田寛郎（消化器科医師）

課題名：高齢の新型コロナ感染症患者に係る急変時の対応について

概要：高齢のコロナ感染症患者について、患者に認知症があることや家族への確認が難しいことがあるため、急変時に患者から聞き取りを行った内容に基づいて対応してよいか検討するもの。

審査判定：承認

- (意見)
- ・一般的には直接話を聞くことが出来るのであまり問題にはならない。コロナ病棟の場合はリモートでのやり取りのため難しい部分がある。
 - ・臨床倫理では4つの視点①医学的価値②患者の意思③QOL④社会的情勢で考えるが、本事案の場合、1月上旬で重症病床はひっ迫していて、90歳代でステロイド使用して挿管してもQOLが保てない状況で、本人の意向も家族の意向も聞けないため、主治医だけの責任とするわけにもいかないもので、臨床倫理検討部会で検討したもの。
 - ・今回の場合、急変時には人工呼吸器を繋いで集中治療をするかしないかというもの。
 - ・心肺停止時に蘇生術を行わないことについての文書（同意書）を、今後は作成していくことが望まれる。

(2) その他

次回開催日について

令和3年3月8日（月）受託研究審査委員会終了後

以 上

